

わたしの^{いち}推し

いつでも省エネ “なぜ？”



22 省エネする理由■

「くらしとエネルギーPJ」のメンバーは
なぜ省エネするの？

2022年3月21日の首都圏はとても寒い日でした。テレビの画面から突然「電力需給ひっ迫警報」のニュースが流れ、それぞれの対応を迫られました。その年の4月、PJメンバーは、「また」省エネについて自分たちが持っている知恵を出し合って、「省エネ小ネタ」の形にしてお届けしよう決めました。なぜ「また」なのかと思われるでしょうね。何名かのメンバーは30年くらい前！から毎日の生活の中で省エネを大切に暮らしてきました。

なぜ省エネするかって？気持ちよく暮らしたいからです。たとえば、冬にエアコンを最初に設定した温度でうっかり過ごせば、気がつくとき暑いくらいです。それよりも、温度計で測ったり、室温にちょっと関心を向けたりして、温度が必要以上に上がらないように工夫すれば、気持ちよいし、電気代も安くなるというわけです。夏の暑い夜間は冷房を高め設定して夜通し付けたままで寝ます。

緊急時は別として「がまん」ではなく「気持ちよく暮らす」を大切に、これからもPJメンバーの工夫をお届けします。
(MT)



ご自宅の毎時、毎日、毎月の

電力消費量を電力購入会社のWebページ等で
確認してみましょう



いち
わたしの一押し



いつでも省エネ "ケトル"

23

■ お湯を沸かす ■

キッチンで活躍する器具の中で、電子レンジと並んでW数が高い電気ケトル

WEBで調べた電気ケトルの大半は、消費電力が1300Wでした。電気を熱として利用する器具は、使う時間や水量で無駄を出さないのは当然！ケトル？ヤカンと言わなくなったのはいつから？と思いながらヤカンで検索したら、ちゃんと<ケトル>一覧が出てきました。そして電動ポット、保温ポット、給湯ポットなど様々な名称・デザイン・機能の製品も。湯沸かしの場合は13Aの電流が流れるので、コンセントに直接つなぎ、他の電気製品と同時に使わないのが無難ですね。ところで、現在私が使っているケトルは1350W、グラグラと沸かない限りスイッチが切れないこと、目盛りがひどく見にくいことが悩み。

温度が下がればそれなりに使い分けられた保温ポットは始末したのですが、紅茶100度、コーヒー90度、パン作りやゼラチンを溶かすなら最低40度など、温度設定ができ、目盛りが内側にも外側にもあって見やすいケトルを今回の検索で発見したので、買替のチャンスを待つことにします。もちろんお湯を沸かしたのに、使い忘れるミスをしないことが究極の省エネなのですが。(AM)



ご自宅の毎時、毎日、毎月の

電力消費量を電力購入会社のWebページ等で確認してみましょう

